

やさしいまち

2021.

1

No. 241

— 優しさ織りなす SAPPORO —

月一専門誌 札幌市社会福祉協議会発行



「共感する」
社会の明日を想える
→P02

特集



まもりんバッター更新中！

今号の社協のひと
→P10

SAPPORO SHAKYO HEART KNIT



さっぽろ社協ハートニット

社協の「S」と札幌市民の「S」を組み合わせ、「ハート」をモチーフに、心の糸を紡ぐ社協のネットワークが、やさしく包む生地（札幌のまちの基盤の目）をつくりだす様子を表しています。

発行・編集



社会福祉法人

札幌市社会福祉協議会

「共感する」

6つのアクション

共感する

育成する

つなげる

支援する

チャレンジする

組織を
強くする

社協の明日を考える

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 会長 福迫 尚一郎

ふくさこ しょういちろう



新年あけましておめでとうございます。

2020年は多くの方にとって大変な年であったかもしれません。少しでも明るい未来を目指し、本年も皆さまのご協力をよろしくお願ひいたします。

大きな変化

このような変化をだれが想像したでしょうか。新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活は一変してしまいました。これまで当たり前だった、人と人との会うこと、話すこと、つながることが、今は少し難しいことになってしまいました。人に会う時はマスクを着用して、十分な距離をとって、正面を向き合わないようにしなくてはなりません。買い物などの外出は、できるだけ少人数にして、それぞれ時間を分散することで、混雑を生み出さないように、お互いが心がけなければなりません。いたるところで、人と人が隔てられています。

このようなことが地域福祉活動に与える影響は、当然小さくはありません。人々の生活が、つながりづくりと全く逆の方向に振れてしまったわけです。見守り訪問活動も、ふれあい・いきいきサロンも、生活支援ボランティアも、支え合いの根源には人ととのつながりが必要です。地域住民の皆さんがこれまで培ってきたつながりが、そう簡単に無くなってしまうことはないでしょうが、それを育むのがこれまで以上に難しくなったのは事実です。

そのようななかでも、何とか地域福祉活動を継続できるよう、札幌市社協では「新・福まちスタイル」を提唱しました。この難しい時代にあって、感染予防に注意しながら、できる限りの地域活動を進めていくための考え方や事例をまとめたものです。感染の波が引い

ては寄せ、収束が見通せないなか、それでも地域福祉の歩みを止めない多くの皆さまのご参考になればと思っています。そして、いずれの日か振り返った時に、今が決して空白の期間ではなく、未来につながる特別な経験を上積みできた期間として残さなくてはいけないと考えています。

「新・福まちスタイル」スローガン



れあいの気持ちを絶やさず



ふうした活動で



まを大切に

※3密を避けた「空間づくり」、定期的な換気・給水の「時間づくり」、一緒に活動できる「仲間づくり」の3つの間(ま)を大切に



ちゃんと予防してつながろう

▲「新・福まちスタイル」

共感の力

一方、コロナ禍において、大きく伸びたものがあります。それは、寄付です。個人の方からも企業からも、たくさんのお金や物品をいただきました。特に企業からの物品寄付は、これまで26件(2020年11月9日現在、2019年7件)と例年とは比較にならないほどの件数です。ここで改めて思うのは、共感の力がいかに大きいかということです。コロナ禍では、多くの人が同じような



苦しみを抱えました。苦しみの共感が、他者を想う気持ちとなり、多くの人々の寄付につながったのでしょう。地域福祉活動は、そもそもこの共感に基づくものであると思っています。様々な苦しみを抱えて地域に暮らす方々の苦しみを見逃さず、丁寧に顕在化させて、周囲の人たちの共感を得て、支え合いの輪をつくる。それが住民主体の福祉活動です。

共感が生まれて寄付が増えたのだとすれば、コロナ禍であっても地域福祉は確実に進んでいたと言うことができます。どのような状況下であっても、地域福祉を前に進めることはできるのです。

<企業・団体・個人からの寄付でつなぐ地域福祉の輪>



▲聖心女子学院中学校・高等学校の皆さん
(課外授業で集めたマスクを福祉業務従事者へ寄付)



▲テレビ北海道を通じて寄付された全国のハンドメイド作家制作によるマスクを専門学校生や高齢者などに配布



▲カルビー株式会社から、自社製品の寄付
(ひとり親世帯や児童養護施設などへ配布)

社協のチャレンジ

私たちの仕事の仕方にも変化がありました。会議や研修など人が集まる機会は極力避けることが求められたことで、テレワークやオンライン会議が急速に普及し、わずかこの1年弱の間にこれらは全く特別なものではなくなりました。札幌市社協でも、感染対策上の必要から、何とか世間に後れをとらないよう急ぎよ導入しました。

ただ、このようなリモート化については、昨年度行った機構改革で新たに設けた経営改革室において、職員の働き方改革の視点から既に検討を進めてきました。上述のテレワークやオンライン会議のほか、今年度に入りRPAと呼ばれるパソコン作業の自動化システム、出退勤管理システムなど、徐々に新しい働き方の仕組みを導入しています。

また、介護事業部門では昨年度からすでにスマートフォンを用いたホームヘルパーの訪問記録管理を実施しています。これらは、働き手不足といわれる昨今、なかでも特に厳しい状況にある福祉・介護分野において、限られたマンパワーを効率的に本来業務へ注ぎ込むための試みです。さらに言えば、働きやすい環境づくり、選ばれる職場づくりといった、福祉・介護業界の未来に向けた私たちのチャレンジでもあります。

社協の明日

今、札幌市社協では、第5次さっぽろ市民福祉活動計画(平成30年度～令和5年度)の中間年度を迎え、進捗状況の調査をしています。また、第2期中期経営計画(平成30年度～令和2年度)の最終年度でもあり、次期計画の策定作業を急いでいるところです。

コロナ禍により、思ったようには進められないところがあったり、計画や目標値に修正が必要な部分があるかもしれません。ただ、この困難をのり越えた時、元の場所に戻るのではなく、皆さんとともに前進していきたいと思います。どうぞ変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

この記事への
お問い合わせは
総務課へ



地域共生社会の実現にむけて

ユニバーサルデザイン(有)環工房 代表取締役 牧野 准子 氏

車椅子建築士目線から伝えたいこと

私は23年前に(有)環工房を設立し、長年の建築士としての経験から建物のユニバーサルデザイン、バリアフリー調査・提言や心のバリアフリーを伝える講演や研修会などを行っています。障がいのある私だからこそできること、得意なことを仕事にしています。どんな人にも得意なことや苦手なことがあります。所属する「障がい当事者講師の会すぱりんぐ」でも、それぞれが得意なことを担当し活躍しています。インクルーシブ、ダイバーシティの必要性を感じ、社会の一員として暮らすことができる共生社会の実現を目指します。そのためには、まず知つていただくことから理解につながるのだと信じています。

コロナ禍で社会がめまぐるしく変化し、ハンディのある私たちにとって必要なリモートワークや新しい形式が進化してきました。今まで、少数の人が望んでいたことも多くの人が必要とするだけで、こんなに変わるのであります。

◆牧野 准子氏



ある私たちにとって必要なリモートワークや新しい形式が進化してきました。今まで、少数の人が望んでいたことも多くの人が必要とするだけで、こんなに変わるのであります。

知らないでいることがバリアになっている

札幌は、建物や公園などのバリアフリー整備が進んでいます。しかし、使う人のマナーやモラルでせっかくのバリアフリー設備も使えなくなっているのが現状です。知らないでいることがバリアになっています。車椅子対応の駐車場もなぜ広いか知っていますか。車椅子を横付けして乗り降りするのに必要なスペースなのです。そこが空いていないと困る人がいるのです。小学校の福祉授業でその話をすると、半数以上の子が「そこが空いてないと困る人がいることを知らなかった」と言い、「親が停めているので注意します」と感想をくれる子もいました。障がいも病気も好きでなる人はいません。現在高齢者は4人に1人の割合ですが、もうすぐ3人に1人

の時代がやってきます。高齢者の7割が何らかの身体障害を持っているともいわれています。人ごとではありません。知らないから差別や偏見があると感じています。



▲間違った使い方の駐車場

共生社会の実現のために

私は今から16年前に脊髄の進行性の難病を発症し、僅か一年で車椅子を使うようになりました。歩けた時は見えるものも世界も一変。できないことが増えていき駄目な自分ばかりが気になり、世の中からポツンと取り残されたような孤独感に襲われた時期がありました。プライドをズタズタに傷つけられてどん底に突き落とされた感じでした。身体面だけではありませんでした。高齢者、障がい者のなかには、同じような思いをしている方がいるのではないでしょうか。孤立を感じない社会が重要です。

環境が整い、人の優しさや配慮でそれを感じないこともあります。難病発症前から比べると半分以上は我慢です。バリアがなくなれば、我慢の程度も減ります。そして介助者の負担も軽減されることでしょう。ハンディがある方の外出機会が増えることで相互の理解にも繋がります。それを知っていただきたくて2020年10月に北海道新聞社より「北海道バリアフリー観光ガイド」、Amazonから電子書籍「まちの中にバリアがいっぱい」「ウイルスと一緒にになって16年」も発行しました。これからも、共生社会の実現のために伝えてまいります。



ネット

「NET119」

～デジタル技術で市民の安心・安全を支援！～

札幌市消防局 警防部長 小嶋 韶氏

市民の生命や財産を守る窓口

「消防指令管制センター」では、市内の全ての119番通報の受付を行い、消防車や救急車への出動指令を迅速・的確に行っています。

当センターが令和元年の一年間で受けた札幌市の119番通報件数は14万件を超えており、平均すると一日に約385件、約3分44秒に1件の通報がされていることになります。一刻も早く消防車や救急車を必要な場所に向かわせるために、「火事」か「救急」かの種別と「住所」を確認した時点ですぐに出動指令を出しているため、119番通報する際には特に「住所」を伝えいただくことが大変重要です。



▲消防指令管制センター

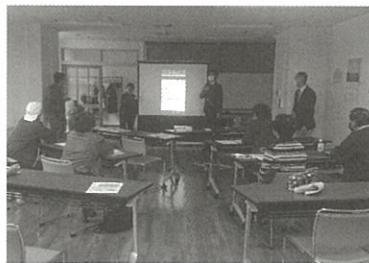
音声通報が困難な方への新たな取組み

札幌市消防局ではこれまで、音声による通報が困難な方が緊急時に通報できる仕組みとして、FAXによる通報「FAX119」、電子メールによる通報「メール119通報システム」を導入しておりますが、それに加えて令和2年7月から、新たにスマートフォンのインターネット機能を利用して、簡単な操作で素早く119番通報することができる緊急通報システム「NET119」の運用を開始しています。

「NET119」の特徴は、①GPS機能を利用して、外出先からの通報でも通報場所を特定して知らせることができること、②通報後は、場所の特定や症状などの確認のためチャット方式でリアルタイムに対話できること、③あらかじめ「自宅」や「よく行く場所」の住所を登録することで、簡単に通報場所を伝えることができる

こと、④119番通報が送信されない状態で、実際の通報と同じ操作の練習を行うことができる事が挙げられ、インターネット回線を使用して24時間365日利用することができます。

利用には事前の登録が必要ですが、「火事」「救急」の災害種別や「住所」などの消防が出動するために大切な情報をスマートフォンの画面でタップするだけで通報することができますので、万が一に備えてぜひ多くの方に登録していただきたいと思います。



▲NET119登録説明会の様子

NET119通報画面(スマートフォン)▶



おわりに

今年の7月には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のサッカーやマラソン、競歩などの種目の開催が札幌で予定されており、119番通報の増加が予想されます。通常の119番通報が困難な方もより円滑な緊急通報が可能な「NET119」の普及は、障がいの有無に関わらず、誰もが安心して暮らせる街、「ノーマライゼーション社会」の実現にもつながると考えています。札幌市消防局ではこれからもこうした取組みを行い「安全・安心を誇れる街さっぽろ」を目指します。

ご利用にあたって

NET119緊急通報システムのご利用には、事前の登録が必要です。登録対象者は、聴覚や言語機能などの障がいなどにより電話での119番通報が難しい方で、札幌市内に居住か通勤・通学する方です（詳しくは左下QRから）



<https://www.city.sapporo.jp/shobo/shirei/chokaku/net119.html>

●お問合せ先／札幌市消防局警防部指令課

Eメール：shirei.shobo@city.sapporo.jp

FAX：011-261-9119 電話：011-215-2080

※FAXでお問い合わせいただく場合は、送信元のFAX番号を忘れずにご記入ください。

あなたとSHAKYO

～社協を気軽に活用してください！～



●コロナ禍の中での民生委員・児童委員活動

民生委員・児童委員は、普段は、高齢のひとり暮らしの方などのお宅を訪問し、安否を確認するなどの見守り活動を行うほか、話し相手となって暮らしに関する様々な相談に応じ、必要な情報の提供、困りごとに対応できる適切な相談窓口・専門機関の紹介やつなぎ役を担っています。また、子育て、虐待、いじめ、不登校など、子どもに関する心配ごとの相談にのり、健やかに育てるお手伝いもしています。

コロナ禍により、こうした普段の活動が難しくなってはいますが、訪問を電話に切り替えたり、訪問する場合も対面することなくインターホン越しの会話をを行うなど、工夫し活動しています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大が現在よりも少し落ち着いていた8月～10月にかけては、多発する高齢者を狙った特殊詐欺の防止や交通安全の啓発を目的とし

て、北海道警察と連携し、コロナ禍により閉じこもりがちとなっている高齢者宅への同行訪問を展開しました。

感染拡大の状況は続くなかで、民生委員・児童委員自身も感染リスクを抱えながら活動しています。札幌市民生委員児童委員協議会は、市内約2,850名の委員が安心・安全に今できる活動を取り組んでもらえるよう、全力で支援してまいります。



▲道警と高齢者宅を同行訪問の様子

この記事への
お問い合わせは
地域福祉課へ

●「令和3年度さっぽろ総合福祉推進助成」の申請を受け付けています

市民や企業などからの寄付金(各種基金)の運用益を財源として、持続可能な社会福祉活動の一助となることを目指し、「さっぽろ総合福祉推進助成」を実施しています。

■令和3年度の助成テーマ

「社会的養護における自立支援」

○社会的養護下からの自立支援に向けた活動(文化芸術スポーツ活動などへの支援、学習支援など)

○社会的養護下にあった若者の自立支援に向けた活動(生活再建に向けた相談、就職支援など)

○社会的養護における自立支援のために有意義と考えられる活動(仲間づくり、ネットワーク構築など)

■助成対象条件

○札幌市内に設置され、会則や構成員などが確認できる団体 ※法人格の有無は問いません。

○テーマに関して取り組んでいる(取り組もうとしている)団体であれば、原則申請可能です。

■助成金額

総額100万円(1団体20万円上限)

※申請数により助成金額が変動する場合があります。

※人件費としての助成金は交付できません。

■申請期日

令和2年11月～令和3年1月29日(金)

■申請手続き

所定の申請書類に必要事項を記載の上、郵送またはメールで提出 ※申請書は本会ホームページからもダウンロード可能です。



この記事への
お問い合わせは
経営財務課へ

●福祉用具展示ホール「知って良かった！」セミナー

毎月第2土曜日、福祉用具関連企業の方を招いて、福祉用具や健康・介護に関する講座を行っています。自分のために、家族のために、将来のために、「知って良かった！」と思える日ごろの生活に役立つ身近な内容が盛り



この記事への
お問い合わせは
総務課へ

だくさん！どなたでもご参加いただけます（※事前予約制）

【日 時】 毎月第2土曜日 10時00分～11時30分
【場 所】 札幌市社会福祉総合センター4階視聴覚兼会議室
【費 用】 無料
【内 容】 2月13日：睡眠の知識と快適な眠りについて
講師／パラマウントベッド株式会社
睡眠改善インストラクター 田仲 剛 氏
※1月開催予定だったセミナーは中止となりました

●日常生活自立支援事業 生活支援員登録に向けた研修・説明

生活支援員として地域で生活する方々のサポートをしてみませんか？

日常生活自立支援事業では、認知症や精神障がいなどにより日常生活に支障のある方へ、福祉サービスの利用に関する相談や助言、利用に必要な手続きや費用の支払いなどを支援します。生活支援員は、社会福祉協議会の職員である専門員が作成した「支援計画書」にそって、定期的に訪問し預貯金の払戻し手続きなどのお手伝いをします。

この記事への
お問い合わせは
権利擁護係へ

<研修・説明会について>

【日 時】 令和3年2月3日（水）、5日（金）
10時00分～12時00分
【費 用】 無料
【定 員】 30名
【内 容】

- ・日常生活自立支援事業の概要と生活支援員の活動
- ・認知症・障がいのある方への関わりや制度など
- ・活動中の生活支援員の実践発表
- ・登録説明・専門員との面談

●わたしの生き方セミナー いつまでも自分らしく～終活2020～

人生で欠かすことのできない「衣・食・住・財」「医・職・充・才」をテーマに、様々な分野の講師を迎えて講座を行います。思い通りに「終活」してみませんか？

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、事前申込制（先着順）、定員制（ソーシャルディスタンシングのため）としました。定員は会場により変動しますのでご承知おきください。お申込み開始日時は毎回前月の講座終了後の正午から、電話・FAX・窓口で受け付けます。



この記事への
お問い合わせは
広報戦略室へ

【日 時】 毎月第4水曜日 10時00分～11時30分
(質疑応答30分程度)
【場 所】 札幌市社会福祉総合センター4階大研修室
【費 用】 無料
【定 員】 各日50名
【内 容】
1月27日：「冬も楽しく歩こう！人気のノルディック・ウォーキングはじめませんか？」
講師／日本ノルディックウォーク連盟 上級指導員
渡部 東司 氏、石垣 太計詞 氏
2月24日：「意思を継ぐもの相続・遺贈～遺言する意味とは～」
講師／房川・平尾法律事務所 弁護士 平尾 功二氏
【お申込み】 受付中

※掲載しているイベント・研修は、新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止または延期になる可能性があります。





福祉の現場から

今月のトピックス

この記事への
お問い合わせは
札幌市
保養センター駒岡へ

心をつなぐやさしい宿「札幌市保養センター駒岡」

■札幌市保養センター駒岡とは…？

札幌市南区真駒内の自然豊かな駒岡地区に立地し、高齢者や障がい者、ご家族やお子様連れなど、どなたでも安心・快適にお過ごしいただける北海道内唯一の老人休養ホームで、全館バリアフリーの宿泊・休憩施設です。

また、ケアマネージャーなどの介護専門有資格者を配置し、介助の必要な方などを対象に介護付き宿泊・休憩プランなど、他にはないサービスを提供しています。

■コロナウイルス感染拡大防止について

当センターでは、全てのお客様に安心してご利用いただきるために、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組みとして「新北海道スタイル」安心宣言を踏まえ、お客様とスタッフの健康と安全を考慮し、様々な対策へのご協力ををお願いさせていただいているます。

何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。



▲入館前の体温測定



▲各所消毒を強化



▲お客様同士の間隔の確保



●ご予約・お問い合わせ



札幌市保養センター
駒岡

〒005-0861 札幌市南区真駒内600番地20
TEL:011-583-8553

■各種施設のご案内



▲バリアフリー客室



▲日帰り入浴も可能な大浴場



▲メニュー豊富なレストラン



▲麻雀ルーム完備(飛沫防止ボード付)



▲研修などにも使いやすい広間や研修室



■宿泊プランのご案内

当センターはGoToトラベルキャンペーン対象施設ですので、通常よりお得にご宿泊いただけます。

季節膳プラン		
	通常料金	GoToトラベル 割引後 料金
60歳以上・障がい者など	¥7,190	¥4,674
中学生～60歳未満	¥7,790	¥5,064
小学生	¥7,090	¥4,609

※11月～4月は暖房料が別途かかります(60歳以上など260円・中学生以上60歳未満310円)。

※その他キャンペーン対象コースもございます。

※政府の予算がなくなり次第終了となります。

■令和3年4月より料金改定のご案内

当センターは、札幌市老人休養ホーム条例に基づき運営をしていますが、条例改正に伴い、令和3年4月よりご利用料金を改定させていただくこととなりました。何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。



SHAKYO 掲示板

※掲載しているイベント・研修は、新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止または延期になる可能性があります。

福祉除雪協力員の募集

自力で除雪が困難な高齢者や障がい者を対象に、道路に面した出入り口部分（間口）と玄関先までの通路部分（敷地内）の雪を除雪してくださる個人・団体・企業を募集しています。協力員には、12月1日～3月25日の活動期間終了後に1世帯21,000円を活動費としてお支払いします。みなさんの優しさをスコップに込めて、活動を通じてご自身の健康づくりにも役立つ福祉除雪へのご協力よろしくお願ひいたします。

【お申込み・お問い合わせ】

地域福祉係・各区社会福祉協議会

大人のための朗読会

フリーアナウンサーの田中隆子さんによる文芸作品などの朗読。

【日 時】 2月20日（土）13時30分～（14時40分終了予定）
【会 場】 社会福祉総合センター4階 大研修室
【定 員】 100名（先着順） 【参 加 費】 無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員数を通常より少なく設定しています。

【お申込み開始日】 1月20日（水）

【お申込み・お問い合わせ】

情報センター資料室



障がい者虐待防止啓発セミナー参加者募集

【日 時】 2月23日（火・祝）10時30分～12時00分（開場10時）
【場 所】 社会福祉総合センター4階 大研修室
【定 員】 80名（先着順） 【参 加 費】 無料
【内 容】 障がい者虐待相談体制、障がいのある方を地域で支えるために

【お申込み期間】 1月12日（火）～31日（日）

【お申込み・お問い合わせ】

札幌市コールセンター（電話：011-222-4894）

〈情報センター資料室発！ 福祉関係者におすすめの一冊〉

「現場で役立つ！ 社会保障制度活用ガイド 2020年版」

ケアマネジャー編集部 編 福島 敏之 著 中央法規出版 定価／本体2,700円（税別）

「生活保護」「医療保険」「年金」「障がい者福祉」「権利擁護」計5分野の制度に関する最新情報を掲載。具体的な事例とともに、サービス利用までの流れから活用術まで、表とイラストを多用して解説しているので、専門職はもちろん当事者やご家族にとっても参考にしやすい内容です。

本の貸出を希望される方は情報センター資料室にお越しください。
情報センター資料室で貸出している本やDVDの蔵書検索は、こちらからご覧になれます。
URL: <http://www.lib-finder.net/sapporo-shakyo/servlet/Index>

ほっ・とプラザ協力会員の募集

日常生活に支障がある、高齢者や障がい者、病弱な方、産前産後各8週以内の方への家事の手助けや外出時の付き添い、除雪などを行う「有償のボランティア事業」を行っています。会員登録制で、以下の日程で実施する登録説明会（午前は登録説明、午後は活動前研修）を受講することで、経験のない方でも有償ボランティア活動に参加することができます。

【日時・場所】

2月16日（火）：社会福祉総合センター 3階 第2会議室
3月16日（火）：社会福祉総合センター 3階 第3会議室
いずれも10時00分～14時30分

【対 象】 有償ボランティアに関心のある方

【費 用】 入会金 1,200円



【お申込み・お問い合わせ】

ほっ・とプラザ

さっぽろ子育てサポートセンター 提供会員募集

育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員になり、育児を手助けする「有償のボランティア事業」を行っています。子どもの見守りや保育園の送迎など、子育て中の方が、ちょっとした手助けが欲しい時のサポートです。登録後、11時間の講習があるので、安心して活動に入ることができます。

◇会員登録説明会

【日 時】 1月21日（木）10時00分～11時30分
【場 所】 社会福祉総合センター 4階 視聴覚兼会議室
【対 象】 札幌市在住、20歳以上の方
【お申込み開始日】 1月12日（火）

【お申込み・お問い合わせ】

さっぽろ子育てサポートセンター



今月の
社協のひと

「転職」で「天職」へ ～あきらめない気持ちが夢を叶える

福祉の道に進むまで

プラモデル作りが好きで、人の役に立つロボットを作りたいという夢を抱いて大学の工学部に進みました。大学院を卒業後は大阪の製鉄会社に就職し、生産ラインのメンテナンスを担当していましたが、就職先の会社が飲み込まれるかたちで合併したことからビジョンが描けなくなり、一度リセットするつもりで退職し実家のある札幌に戻りました。

札幌では前職の経験を活かして製粉会社に再就職し、生産ラインのメンテナンスを担当しました。職場には知的障がい者の方もおられ、周囲の接し方で次第に積極性に溢れて変わっていく様子を目の当たりにし、福祉の世界に強く惹きつけられました。そこで知識を得るために介護職員実務者研修を受講したところ、その講師の先生のご縁で市内の特別養護老人ホームを紹介いただき、心機一転、福祉業界で働くことになりました。

福祉の仕事に就いて

特別養護老人ホームでは、寝たきりの介護度の高い入居者を担当しました。10人を1ユニットとしたユニットリーダーを任されるようになると、自分の祖母のことが思い出されるようになりました。一人暮らしをしている祖母は90歳。自分のことは何でもやって元気に過ごしています。祖母と同年代の入居者さんとの違いを見るにつけ、予防ケアの重要性を認識するようになりました。

そこでデイサービスセンターに転職し、レクリエーション、食事、お風呂、送迎といった一日型のデイサービスの経験を積みました。適切なサービスの利用で、住み慣れた自宅で過ごせる期間を延伸できます。次第にケ

これから就職を考えている方へのメッセージ

ぜひ思い切って一步を踏み出してください。私のように異業種からでも、学べるチャンスはたくさんあります。この世界は広く、新しいことも多く、この数年でダイナミックに変わっていますので、一日でも早く社協に飛び込んでほしいと思います。人の役に立つ仕事で、仲間も多く働きながらスキルアップも目指せる環境です。ぜひ一緒に働きましょう。

Profile

プロフィール

まつい たかあき
松井 崇明地域包括部
北区第2地域包括支援センター

入職日：令和2年4月

休みの日は：

ドライブ、ロードバイク

座右の銘：七転び八起き



アプランの作成にも関わりとなり、並行して社会福祉士の勉強をして今年3月に無事合格。4月に社協に入職し、念願の地域包括支援センターに配属されました。

社協で働いて感じたこと、そして目標

現在は社会福祉士の専門職として要支援1、2の方を対象とした予防ケアマネジメントに携わっています。また町内会などの地域で、認知症や高齢者の虐待防止について研修や勉強会を行っていますが、このコロナ過で地域での活動は制限されている状況です。

職場の雰囲気は「楽しい！」「明るい！」「話しやすい！」に尽きます。本ではわからなかった制度の細かいところなども教えていただき、日々新しい学びにつながっています。今後は、成年後見制度などの制度や介護保険の利用など、困っている方に必要なサービスを届けられるよう、地域に役立つ福祉専門職を目指したいと思っています。



▲デスクワーク中

札幌市社協応援企業のみなさん

～賛助会員企業として札幌市社協の活動を応援しています～

トーアレガートパレス

サービス付き高齢者向け住宅

- 平成26年3月オープン、29年10月増築(12階建・全116戸)
- 24時間職員常駐の安心・安全・快適な住まい
- 地下鉄南北線「北34条駅」5番出口から徒歩1分(交通至便)
- 月額利用料金 介護居室(1R:Aタイプ)188,500円
(食費込み) 一般居室(1Rタイプ)138,500円~
△ (1LDKタイプ)237,000円~

入居相談・昼食付見学会
随時開催中

*昼食ご希望の場合は事前にお申し込み願います。

場所 トーアレガートパレス
(北区北31条西4丁目3番18号)
※南北線「北34条駅」5番出口後方1分
申込先 ☎ 0120-163-063



資料請求・お問い合わせ先：(株)トーアいこいの杜 入居相談室(札幌市北区北31条西4丁目3番18号) ☎ 0120-163-063

全ての女性と女児が
幸せに生きることができるよう



ソロプチミストの原点は
奉仕です
・暴力などで困って
いる人を助けたい
・奉仕を実践している
方を応援したい
・教育の機会を与える
身近におられましたら
ご相談ください



国際ソロプチミスト札幌中央 事務局 ☎ 090-8638-8901

季節の行事・多彩なレクリエーション・天然温泉のある暮らし!

サービス付き高齢者向け住宅
ルルドの泉
平成28年7月
開設
入居相談見学内覧
一随時受付中一

*事前に見学希望日の連絡をお願いします。
*見学時の送迎ご相談承ります。



お問い合わせ・資料請求は
☎ 011-897-6610
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条6丁目5-35

仲間と一緒に
歩いてみませんか

～縁あふれる自然と文化にふれ、楽しく歩いて25年。人生100年時代に向かって歩こう～
NPO法人 札幌歩こう会

〒064-0811
札幌市中央区南11条西7丁目3-20
TEL/FAX 011-520-7876
お問合せ 10:00~15:00(日曜・祝日・年末年始を除く)
E-mail swa@alpha.ocn.ne.jp
ホームページ(URL) http://swa.or.jp/

北海道の中古車選びと言えば

スーパー中古車市

優良中古車 限界価格に挑戦!!

実行委員会事務局 札幌市中央区南1条西4丁目 大手町ビル9F
TEL. 011-242-8228



スーパー中古車市は
レバング北海道のオフィシャルスポンサーです

賛助会員募集中! (企業・団体・個人)



よろしくまも!!



地域福祉のサポーターとして、お互いに支え合うやさしいまちづくりの実現のため、札幌市社協をぜひ応援してください!

企業・団体 10,000円(1口)、個人 1,000円(1口)

札幌市社協は令和2年11月27日付で「税額控除対象社会福祉法人」となりました



ご寄付ありがとうございました

- 2020年 9月30日 株式会社テレビ北海道 代表取締役社長 松井 正憲 様
 10月 6日 札幌菱友会・三菱業務懇談会 様
 10月 8日 「小さな親切」運動 北海道支部 様
 10月12日 中央老人福祉センター 手芸サークル 様
 10月14日 株式会社pdc 代表取締役 藤井 敬二 様
 10月23日 山家 マキ 様
 10月26日 片岡 トヨ子 様
 11月 2日 田村 義則 様
 11月 4日 全日本音楽教室指導会連合会 北海道地区予選会 様
 11月 5日 蝶川 紀巳子 様
 11月 9日 日立物流ソフトウェア株式会社「まごころ基金」様
 11月10日 安藤 公雄 様



札幌菱友会・三菱業務懇談会 様 株式会社pdc 様



札幌市社会福祉協議会は、
令和2年11月27日付で
「税額控除対象社会福祉
法人」となりました



蝶川紀巳子様

内部広報 「今日のイイネ」より

●「今日のイイネ」とは… 職員が「これは良い!」と感じた、6つのアクションを実践する活動や行動を取り上げて紹介・共有するしくみです。

9月26日(土)に「第5回スピーチマラソン」を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染予防として定員を大幅に制限しての開催となりましたが、当日は出演者スタッフを含め102名の方に5名の熱き想いをお届けしました。当日の模様は、共催団体の「障がい当事者講師の会すばりんぐ」のYouTubeチャンネルにて編集したものが公開されていますのでぜひご覧ください。



＜投稿者＞
ボランティア
活動係



共感する

10月1日から7日にかけて、市・各区にて赤い羽根共同募金の街頭募金を実施しました。札幌市共同募金委員会が実施する街頭募金は、札幌駅前通を中心とする駅前地区・大通地区で行い、合計76団体、567名が参加され、500,173円の募金をいただきました！コロナ禍の中「新・街頭募金スタイル」で臨んだ今年ですが、多くの皆様に温かいご協力をいただきましたことに、感謝申し上げます！

＜投稿者＞
札幌市
共同募金委員会



つなげる

数えで100歳を迎えたご利用者宅を訪問し、ささやかな百寿のお祝いをさせていただききました！98歳の時に私たちの介護保険の講話を聞いて初めてデイサービスを利用され、1年以上が経過した現在も身の回りのことはご自身で、脳トレや体操などのセルフケアも欠かさず行っています。凄くパワーをいただいたので皆様にもお裾分けしたく、共有させていただきました。令和3年は百一賀のお祝いを共有できればと思います。今日も新年もいいね！

＜投稿者＞
北区第2地域
包括支援センター

チャレンジ
する

デイサービスで行った手芸工作で、柿の木・ブドウを作成しました！
「今回は作ってる時どうなるのか心配だったけど、並んだらこんな立派になるんだね！」「想
像よりも美味しい」と嬉しそうな様子が見られ、こちらも自然と笑みがこぼれました！

＜投稿者＞
南老人福祉
センター



支援する

お問い合わせ先 一覧

電子書籍ポータルサイト「hokkaido ebooks」でもご覧になれます。
<https://www.hokkaido-ebooks.jp/>

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 ☎060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階
<代表> 電話 614-3345 FAX. 614-1109

総務部

- 総務課・広報戦略室・展示ホール … 614-3345
 職員課 ……………… 623-0010
 経営財務課 ……………… 614-3343
 情報センター資料室 ……………… 614-2001
 社会福祉総合センター ……………… 614-2948
 地域福祉部
- 地域福祉係 ……………… 614-3344
 生活福祉係 ……………… 614-0169
 札幌市共同募金委員会 ……………… 614-3532
 ボランティア活動センター ……………… 623-4000
 ほっ・とプラザ ……………… 623-4010
 さっぽろ子育てサポートセンター ……………… 623-2415
 高齢者・障がい者生活あんしん支援センター
(権利擁護係・相談係) ……………… 632-7355

介護事業部

- 介護事業課 ……………… 623-0001
 施設福祉部
- 施設福祉係 ……………… 614-1002
 養護老人ホーム長生園 ……………… 614-1171
 札幌市保養センター駒岡 ……………… 583-8553
- 地域包括部
- 地域包括課 ……………… 623-4021
 調査課 ……………… 623-4022

中央区社会福祉協議会 ……………… 281-6113

- 北区社会福祉協議会 ……………… 757-2482
 東区社会福祉協議会 ……………… 741-6440
 白石区社会福祉協議会 ……………… 861-3700
 厚別区社会福祉協議会 ……………… 895-2483
 豊平区社会福祉協議会 ……………… 815-2940
 清田区社会福祉協議会 ……………… 889-2491
 南区社会福祉協議会 ……………… 582-2415
 西区社会福祉協議会 ……………… 641-6996
 手稲区社会福祉協議会 ……………… 681-2644



ホームページでもご覧になれます。
<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>



赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています。